札幌市立発寒中学校　学校だより

はちゃむ

第458号

2022, 3, 25

’９８きまりの精神
『自律』『尊重』『協力』

修了式にあたって

校長　丹羽　俊

１年前の修了式、前任校で私は、テレビを通して１，２年生にお話をしました。４月に発寒中学校に着任してからも、入学式と卒業式以外は、各学期の始業式や終業式など、ほとんどの場面でテレビを通じてのお話だったと思います。テレビ放送はカメラに向かって話しかけることになるので、今日のような緊張はあまりありません。こう見えて意外と緊張しやすい私にとっては、少しだけ楽な気持ちで話せるというメリットがあります。その一方で、聞いている皆さんの反応が全く分からないという不安も生じます。退屈な話になっていないか、わかりづらくて皆さんが上の空になってしまっていないか…。そういう反応がわからないのです。目を見て話すことの大切さをこのコロナ禍において改めて感じました。

今日、こうして皆さんの顔を見ながらお話しできることをとても嬉しく思います。皆さんの反応をしっかりと感じ取りながら、二つのことをお話しさせてもらいます。

今日は修了式です。１学期や２学期の終業式とは少し意味合いが違います。１年間の目標を成し遂げたという意味で使われるのが「修」という漢字だそうです。皆さん自身は、それぞれの目標を達成することができた１年でしたか？

今年もやはり、新型コロナウイルス感染症の対策に追われた学校生活となってしまいました。そんな中では、なかなか目標を設定しづらかったり、それに伴う計画も立てづらかったりしたと思います。そんな生活の中でも皆さんは、自分がしなければならないことや、自分にできることをしっかりと積み重ねてくれた、私の目にはそう映っていました。目標の設定やそのための計画的な取組は、人と比べたり、人のまねをしたりするものではありません。きっと、皆さん一人一人が、自分らしい目標や自分にあった計画を立てて取り組むことができた１年だったからこそ、私の目にもそれが見えたのだと思います。そんな自分自身に、どうか自信をもって、胸を張って進級してください。

二つ目のお話は、２年生の皆さんには４月の始業式で、１年生の皆さんには入学式でもしたお話です。自分で目標を立てて、それを成し遂げたときに得られる達成感や満足感と同じくらい、できなかったことやつまずいてしまったことから何かを学ぶ人になってほしいということです。そのためにも、失敗やつまずきの原因を周囲に求めず、自分の中に探す勇気をもってほしいと思います。原因を周囲に求めるというのは、わかりやすく言えば、人のせいにするということです。人ばかりではないかもしれませんね。天気のせいにしたり、環境のせいにしたり。そうすることで、その瞬間は楽になるかもしれません。でも、それでは同じ失敗やつまずきをまたしてしまうでしょう。原因を自分の中に探す努力こそが、皆さんを成長させるのです。

２週間後、皆さんは学年が一つ上がり、新入生を迎えることになります。コロナウイルス感染症の状況が急激に良い方向に向かうとはなかなか考えられませんが、新入生と共に発寒中学校の新しいページをスタートさせてほしいと願っています。

４月６日（水）の始業式は、標準服（ネクタイ・蝶タイ着用）での登校が基本となります。登校時間はいつも通り（８：１５～８：２５）です。